

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 4 年 6 月 30 日

枚方市長 殿



提出者

住 所 大阪市北区中之島3丁目6番32号

氏 名 株式会社大林組 大阪本店

取締役副社長執行役員大阪本店長 村田俊彦

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

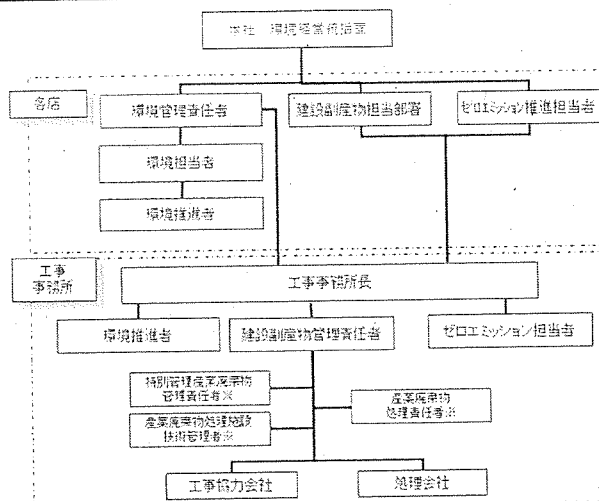
電話番号 06-6456-7154

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社大林組 大阪本店
事業場の所在地	大阪市北区中之島3丁目6番32号
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	360百万円
③従業員数	2,167人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	11316.6 t	2.09 t
	（これまでに実施した取組） ①新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標値設定 ②産業廃棄物の削減方法 ・ 施工方法の検討による廃棄物の削減（鋼製型枠材の使用等） ・ 梱包材の削減（メーカーへの簡易梱包依頼等）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	11000 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ①新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標値設定 ②産業廃棄物の削減方法 ・ 施工方法の検討による廃棄物の削減（鋼製型枠材の使用等） ・ 梱包材の削減（メーカーへの簡易梱包依頼等）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値を設定し、混合廃棄物の排出量を低減することにより分別を促進する。 ②コンクリート塊、アスコン塊、木くず、廃プラ、石綿含有建材等
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値を設定し、混合廃棄物の排出量を低減することにより分別を促進する。 ②コンクリート塊、アスコン塊、木くず、廃プラ、石綿含有建材等

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

廃プラスチック類	木くず	ガラスくず等	がれき類
1.5 t	194.55 t	2.4 t	27567 t

②計画

廃プラスチック類	木くず	ガラスくず等	がれき類
0 t	190 t	0 t	27100 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

建設系混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	
332.38 t	268.8 t	0.6 t	t

②計画

建設系混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物		
300 t	200 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	11,316.60 t	2.09 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0 t	2.09 t
	再生利用業者への 処理委託量	11,316.60 t	2.09 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への処理委託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①リサイクル率の目標値設定		
	②ゼロエミッション活動の推進		
	③再資源化ルートの確立		
	④優良認定処理業者の選定		
	⑤広域再生指定を受けているメーカーとの契約（石膏ボード等）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

廃プラスチック類	木くず	ガラスくず等	がれき類
1.5 t	194.55 t	2.4 t	27,567 t
1.5 t	137.4 t	2.4 t	7 t
1.11 t	185.95 t	0 t	27,560 t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

建設系混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	
332.38 t	268.8 t	0.6 t	t
332.38 t	268.8 t	0.6 t	t
259.26 t	0 t	0.57 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	11000 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2000 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	11000 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ①リサイクル率の目標値設定 ②ゼロエミッション活動の推進 ③再資源化ルートの確立 ④優良認定処理業者の選定 ⑤広域再生指定を受けているメーカーとの契約(石膏ボード等)		
※事務処理欄			

②計画

廃プラスチック類	木くず	ガラスくず等	がれき類
0 t	190 t	0 t	27100 t
0 t	130 t	0 t	0 t
0 t	190 t	0 t	27100 t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

建設系混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物		
300 t	200 t	t	t
300 t	200 t	t	t
250 t	0 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

